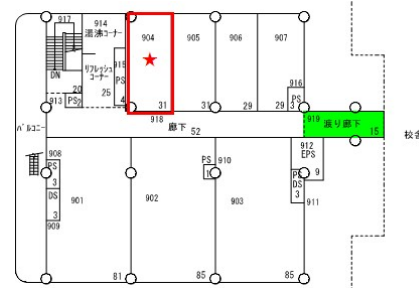


開設目的

サテライトオフィスは、国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下、「防災科研」という。）と香川大学（以下、「本学」という。）が連携・協力して、自然災害のハザード・リスク評価に関する情報や観測データの利活用、地域の防災リテラシーの向上などの課題等に取り組むための拠点とする。

開設場所

本学林町キャンパス
6904室（6号館9階）



防災科研と本学とのこれまでの主な連携実績

◆ 連携協定

- ・防災科研、海洋研究開発機構、坂出市、本学との4者間（R3～）
- ・連携協力に関する協定書（防災科研と本学との2者間）（H28～）
- ・観測データの南海トラフ地震・津波災害対策への活用に関する連携協力協定

◆ 共同研究等

- ・「DONETデータを用いた津波即時予測システムの高度利用に関する研究」（R2～）
- ・セコム財団 特定領域研究助成「香川県を対象とした災害時リアルタイム対応支援システム構築の試み」（R6～R8）
- ・科学技術試験研究委託事業「防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト」（R2～R6）
- ・SATREPS（JICA/JST）「災害に強い社会を発展させるためのトルコにおける研究と教育の複合体の確立-マルテスト」（R5～R9）
- ・NICT委託研究「AI開発で生み出す次世代型復興モデルの構築を行う研究開発～高松市をモデル地域とした取り組み～」（R5～R7）

◆ 教育

- ・JST国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）講師

◆ シンポジウム、勉強会等

- ・海洋科学の未来とレジリエンスサイエンスシンポジウム
- ・DONET勉強会（参加機関：香川県、坂出市、丸亀市、四国地方整備局、高松地方気象台、四国電力、JR四国等）
- ・DONET情報を用いた避難訓練・図上訓練（坂出市）



期待される成果等

- ①海底観測網DONET等の観測データとハザード・リスク評価を活用した南海トラフ地震被害・津波被害想定及び対策の推進
- ②防災研究の進展とその成果による社会実装の促進
- ③①②による科学研究費補助金等、外部資金獲得の増進
- ④防災科研研究者による本学学生への指導機会増加により、本学学生の防災リテラシー向上や就職先としての可能性向上